

令和4年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

語学・大学留学コース 1月レポート

令和4年度奨学生 宮原佑季

皆さん、明けましておめでとうございます。留学も残すところ3か月ほどですが、今年もフィンドレーや本プログラムの様子をわかりやすくお伝えできればと思います。さて、1月9日から春学期が始まりました。今学期は6授業14単位を履修しています。オハイオの冬の寒さも相まってか、他の留学生の間でも留学疲れが少し見えてきました。今回のレポートでは今学期履修している授業と週末の過ごし方についてレポートしたいと思います。

【授業】

今学期はライティングの授業2つ、宗教学入門、ソーシャルワーク入門、文化人類学、元気キッズ（日本語をアメリカの小学生に教える授業）の5つを履修しています。単位数は先学期よりも少ないものの、難易度が上がったのか課題にかかる時間が増えたように思います。今学期の授業の中で特に興味深い授業は文化人類学です。元々興味があったうえに、文化人類学内の異なる分野を研究している様々なゲストスピーカーのお話を聞く機会が多いため、毎回楽しみながら受講しています。フィンドレーの授業は私が通っている日本の大学の授業よりも専門性が高く、より深く学べているような気がします。授業についていくのが大変な反面、より多くのことを学べている感じがし、非常に充実しています。また、アメリカならではの内容を学ぶことも多く、宗教の授業や文化人類学ではネイティブアメリカンの宗教観や文化、それに関する研究を学ぶことができ興味深いです。

【週末の過ごし方】

先学期は学内や大学近くのダウンタウンで頻繁にイベントが行われていましたが、今学期は少ないように感じます。それでも、他の日本人留学生と共に新年会や日本食パーティーなどを開催したり、友人とトレド（フィンドレーから車で40分ほどの都市）に遊びに行ったりと楽しく過ごしています。また、1月はシンシナティ大学に通う友人を訪ねるために初めて一人で高速バスを利用しました。

〔新年会〕

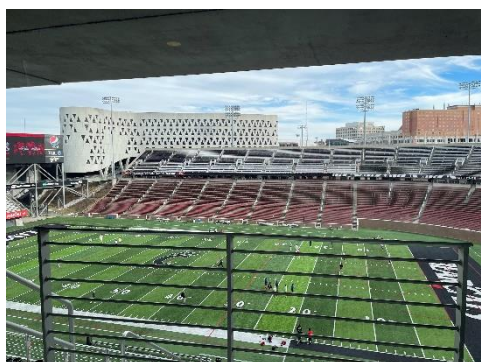
日本人留学生や日本語を学んでいる学生、日本への留学が決まっている学生などが集まり、新年会が行われました。書き初めで新年の抱負や正月らしい言葉を書いた後、みんなでお餅を食べました。定番のあんこや磯部、きな粉だけでなく、より多くのお餅のバリエーションを楽しんでもらうため、冷凍枝豆を使用して自分たちでずんだを作り、みんなに振る舞いました。新年会前日に3時間かけて作ったずんだは意外にも好評でよかったです。また、久しぶりにお餅を食べ、日本らしい新年を迎えることができ感激しました。



〔シンシナティ〕

オハイオ州のシンシナティ大学に通う友人がいるので、週末を利用して訪ねました。初めて高速バスを利用したのですが、メールで送られてきたeチケットではなく紙のチケットしか使用できなかったため、バスの乗り換えを逃しそうになり非常に焦りました。アメリカは日本よりも電子化などが進んでいる印象がありましたが、意外と紙も使用されていることに驚きました。また、紙チケット発行の列に並んでいる際に前に並んでいた人に話しかけられ、旅行や大学生活について少しおしゃべりをしました。初対面の人と話すというアメリカらしいフレンドリーさを感じることができ、良い経験となりました。

シンシナティ到着後は友人にシンシナティ大学を紹介してもらいました。フィンドレー大学の倍以上の大きさに感じましたが、アメリカの大学の中では小さい方だと教えてもらい、改めて日本とアメリカの大学の規模の違いを体感しました。また、キャンパス内は新旧の建物が共存しており、アメリカらしい、歴史のある大学を見ることができました。



シンシナティ大学のキャンパスの写真。左は学内にあるアメリカンフットボールコート。

本プログラムの応募やフィンドレー大学での生活について興味や質問がございましたら、
miyaharay@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が少しでもお役に立てれば幸いです。